

MDRの定義～CEMAより～

MDR(モーター・ドリブン・ローラ)はユニット・ハンドリング・コンベヤ業界には比較的新しい方式で、そのコンセプトは従来のコンベヤにある大型モーターで長距離駆動する方式との決別です。MDR方式はローラ内部にモーターを内蔵させ他のローラとともにゾーンと呼ばれるセクションを駆動する方式です。

ゾーンはコンベヤを構成するブロックとなり、その組み合わせでコンベヤが構成されます。

各ゾーンは個別に制御され、MDR用コントローラやセンサー、コントロール・ロジックにより平面のみならず、傾斜やカーブラインでのアキュムを行います。

MDRシステムのほとんどは1ゾーンにつき1個の物を搬送し、それぞれが非接触(ゼロ・プレッシャー)で搬送するよう設計されます。

MDRは本来、安全で経済的に設計されています。

各ゾーンへの通電は物を運ぶときのみになされます。それによりエネルギー消費、騒音発生、メカ磨耗が軽減されます。ローラ自身は低電圧で比較的到低トルクで稼動し、手で止められるくらいのトルクであるために怪我のリスクも軽減されます。

(中略)

MDRの付加価値はその柔軟性とシンプルさにあります。モジュール式であり、大型モーターを使用しないことでスペースの限られた場所での使用にも最適です。制御は単純搬送から、オプションによってはトラッキング機能付きのアキュムなど可能で用途は多岐に渡ります。

MDRシステムはシンプルなメカ・デザインであるために、施工が簡単でメンテナンス費も軽減できます。

CEMAユニット・ハンドリング・コンベヤ・アプリケーション・ガイド より抜粋

Permission to reproduce this copyrighted material for use on this web site was granted by CEMA

CEMAとは？

Conveyor Equipment Manufacturers Association の略で、米国の有力なコンベヤ機器の製造者で組織される協会です。ここで作成されたコンベヤに関する規格が、ANSI (American National Standards Institute : 米国規格協会)に数多く採用されています。



CEMA 11章の全文和訳文をご希望の方は、
下記メールアドレスまでお問い合わせください。
E-mail : info@itohdenki.co.jp